

09

Mon 月曜日

ただ ふくいん だけ

定刻祈りに成功したらチェックしよう

使 13:1~4 彼らが主を礼拝し、断食をしていると、聖霊が、「バルナバとサウロをわたしのために聖別して、わたしが召した任務につかせなさい」と言われた。(2)

memo

レムナントは時代を見ることができなければなりません。時間がたつほど、犯罪とだらくが多くなって、麻薬と偶像がふえています。インターネットや映像で情報を伝える方法が発達して、暗やみ文化がはやく広がって社会をリードする専門家たちがくさっていています。かれらは多くの問題を起こして、霊的な病気に苦しみます。世の中は、ますます暗やみの経済に変わって、サタンは子どもたちをくずすわなを、文化のようなふりをして、あちこちに植えました。

このような問題を解決しようと、法律や政策をつくってみて、教育も新しく実践してみるのが、もっと深刻になるだけです。立派な人や、宗教団体が多くても解決することはできません。ただ福音だけしか、他の道がないのです。福音を持った私たちは、ONENESS になって暗やみの文化を福音の文化に、暗やみの経済を光の経済に変えて、福音を持った学校を作って、超エリートを立てなければなりません。

霊的問題で苦しむ多くの人を福音でいやさなければならぬのです。さまよっているレムナントたちのために RUTC を立てて、契約とビジョンを知らせてあげなければなりません。祈りと伝道の奥義を体験するのがレムナントのビジョンであり、使命なのです。

8月9日ーソン・キジョン、ベルリンオリンピックマラソンで優勝(1936年)日本の国旗があがり、日本の国歌が流れたとき、ソン・キジョンは、じっと下だけを見ていました。

暗やみにおちいった政治、経済、文化、教育、すべての分野と現場で福音を持ったエリートが起きるビジョンを夢見て、色をぬりましょう



愛の神様、政治、経済、文化、教育のすべての分野に福音を持ったレムナントが起きますように、私もその祝福を味わうことができますように。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン。

がっこうを ふくいんか するの？

ていくいの せいこう
定期祈りに成功したらチェックしよう

使 19:9 しかし、ある者たちが心を
かたくなにして聞き入れず、会衆
の前で、この道をののしったので、
パウロは彼らから身を引き、弟子
たちをも退かせて、毎日ツラノの
講堂で論じた。

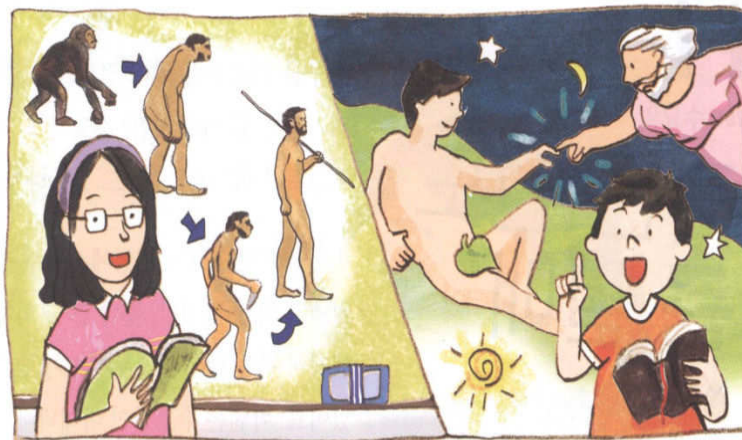
memo

こくさいべんごし どうじ
国際弁護士と同時にタレントである、ある人がモ
ルモン教の宣教師として韓国に入って来て、釜山、
クァンジュ、チョンジュ
光州、全州などに外国人学校をたてました。今
も多くの宗教団体では小学校、高校、大学をた
てて次世代を養成しています。

神様が世の中を創造されたのですが、学校ではま
だ進化論を教えています。このように、学校現場は
霊的な戦地のように、神様を知らないいろいろな
宗教と思想、幼稚な教えが私たちを攻撃しま
す。それで、伝道者パウロは会堂とツラノ講堂に
入って行って次世代に福音を伝えました。

どのようにすれば、私に通っている学校の友だち
と先生に福音を伝えることができるのでしょ
うか。一番重要な準備することは、「聖霊の満たし」
です。神様がくださる力だけが学校現場を生かす
ことができます。そして、だれに会っても、イエ
ス・キリストを誇るできるように伝道資料
とメッセージを準備しましょう。神様はまことの
福音をあかす伝道者にかくしてある弟子をつ
けてくださいます。

ちがうところをさがそう
(6つ)



父なる神様、神様が次世代に最高の関心があり、サタンも次世代を
とてもおそれて、集中攻撃をしています。すでにほかの宗教団体
におちいった次世代を生かすことができるように私を用いてくだ
さい。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン。

ちいさい でんどう おおきな み!

定刻祈りに成功したらチェックしよう

使 17:16~34 死者の復活のことを聞くと、ある者たちはあざ笑い、ほかの者たちは、「このことについては、またいつか聞くことにしよう」と言った。こうして、パウロは彼らの中から出て行った。しかし、彼につき従って信仰に入った人々もいた。それは、アレオパゴスの裁判官デオヌシオ、ダマリスという女、その他の人々であった。(32~34)

memo

友だちを伝道するために伝道トラクトをわたして、教会にいっしょに行くように祈ってみたのですが、伝道できなくてがっかりしているレムナントもいますか。それでもがっかりしないでください。

パウロがアテネという地域で福音を伝えたとき、伝道の実が小さかったのですが、あとに大きい教会が生まれて、パウロから福音をデオヌシオが教会の監督になりました。アテネは、守護神であるアテーナーという名前からつけられたほど、多くの偶像と思想、哲学があふれた所です。そこでパウロはイエス・キリストは私たちの救い主であり、復活して今もともにおられることをのべ伝えました。そのように、福音が必要な現場に福音を伝えれば、どんなに小さな伝道でも大きい実を得るようになります。この事実が分かって、これから信仰だけおおきくすればよいのです。

イエス様は、すべて「完了した」(ヨハネ 19:3)と言われました。その契約をにぎって、どんな問題が来ても信仰を告白すれば、神様が伝道の門を開いてくださいます。この答えを味わいながら福音以外のすべてのことをゆずれば、勝利は私たちのもので



12

Thu 木曜日

わたしが！ かみさまの しんでん

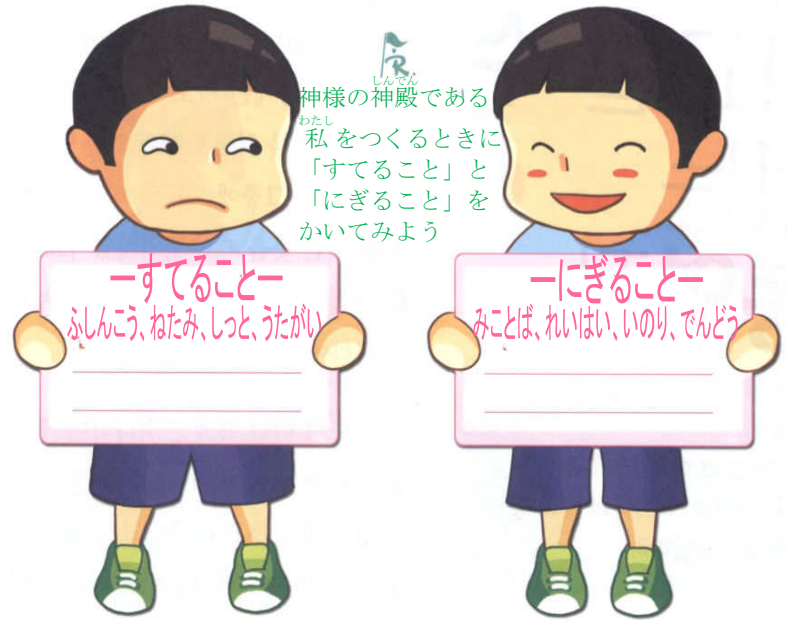
定刻祈りに成功したらチェックしよう

出 31:1~11 主はモーセに告げて仰せられた。「見よ。わたしは、ユダ部族のフルの子であるウリの子ベツアルエルを名ざして召し、彼に知恵と英知と知識とあらゆる仕事において、神の霊を満たした。それは、彼が、金や銀や青銅の細工を巧みに設計し、(1~4)

memo

エジプトから出たイスラエル民族は荒野で遊牧生活をして、カナンあらのの地にむかって移動しました。荒野にとどまって神様がともにおられる神殿である「幕屋」を作しんでんって神様にいけにえをささげました。幕屋は運ぶことができるように作られ、イスラエルの民より先立って動きました。のちに、幕屋は神殿の建物としてたてられました。このように、イスラエルの民は幕屋を中心たみに生活して、霊的な力を得たから、幕屋を飾ることを重要に考えていました。総監督として、ベツアルエルを、柱を建てる彫刻家としてはオホリアブを立てました。

レムナントは、歩く神様の神殿です。私の中にいしんでんらっしゃる聖霊である神様の導きを受けて、毎日、みことばについて行って新しい力を得ることができます。世界福音化の契約を固せいいいくにぎって福音の根をかたくおろしながら、神殿を美しくするすてきな神様の子どもになりましょう。



神様のみことばと礼拝を中心にした生活を願っておられる父なる神様！私の中におられ、私を神殿としてくださって、ありがとうございます。荒野のようなこの世で、美しい神殿として私を整えて、教会につかえる神様の子どもにならせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン。

13

Fri 金曜日

くらべることが できない どうろうしや

定刻祈りに成功したらチェックしよう

ローマ 16:14 アスクリト、フレゴン、ヘルメス、パトロバ、ヘルマスおよびその人たちといっしょにいる兄弟たちによろしく。

memo

教会の中には二種類にしゅるいの人がいます。一つは牧師ぼくしを祈りいので助ける人で、もう一つは牧師ぼくしが祈る人です。

ローマ 16章しやうには、使徒パウロのために祈って世界福音化のためにいっしょに働いた同労者どうろうしやの名前が出ます。その中で「アスクリト」は「くらべることができない」という意味を持った同労者どうろうしやだったのです。彼はくらべることができない自分だけの「祈りの奥義いのおくぎ」を味わって福音のために献身けんしんしました。

大きい祈りの奥義いのおくぎの中には神様がくださるおどろくべき恵みと力があります。この奥義を味わう者は、伝道者でんどうしやを助けて、神様のみことば成就じやうじゆにすてきに用いられます。神様がレムナントれむなんとのみなさんを世界福音化の重要な働き人として呼びました。イエス様がキリストである契約けいやくを固かたくにぎって、今日から静かに祈りの奥義いのおくぎの中に入って行ってみてください。そうすれば、ローマ 16章しやうの同労者どうろうしやのように世界福音化の祝福しゆくふくの中に入ようになります。

あなたの担任牧師先生たんになんぼくしの名前をかいて、伝道者でんどうしやの同労者どうろうしやだったアスクリトのように、担任牧師先生たんになんぼくしのために祈りましょう

神様！
牧師先生ぼくしせんせい



父なる神様、ローマ 16章しやうの働き人アスクリトのように伝道者でんどうしやの同労者どうろうしやとなるようにしてください。牧師先生ぼくしのために祈って世界福音化せかいふくいんかに用いられる祈りいのの人にならせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りいのします。アーメン。

今日は、おばさんが告別式に行ってきました。いっしょに信仰生活をして
いた青年が、白血病になっていて、神様が呼んでいかれたということです。
その青年は、世の音楽を作っていたのが、近い親せきをとおして福音を受け、
神様を賛美する曲をたくさん作っていました。とくに福音を伝える神様の
すてきな人だったと、おばさんは言っていました。

おばさんが告別式で出会ったある女の人の話をしてくれました。その女の人は、
天国に行った青年について話しをして、若いのに死んで悲しいと言っていた
そうです。

そのとき、おばさんは、女の人のどのようにその青年が天国に行くよう
になり、いのちをあたえられたのかと話をあげました。そして、その女の
人に伝道トラクトをわたしたら、女の人はすばらしいプレゼントをもらった
ことのように喜んで、かならず読むと言ったそうです。

「神様に、ほんとうに感謝します。私たちは天国に行く日まで、伝道を
していきます。今日、最初から最後までともに伝道したこの日を、神様に
栄光をささげます」おばさんは、このように祈って、2つの祈りの課題を
にぎりました。しかし、その祈りの課題がなにかは教えてくれなかった
ので、何なのか知りたいです。しかし、なんであっても、私もなんとなく
わかる気がします。今日、おばさんの話をとおして、伝道者はどこに行っ
ても、どこにいても、光を放つということを考えるようになりました。私も
福音の光を放つまことの伝道者になりたいです。

福音の光

ていこくのせいこう
定刻祈りに成功したらチェックしよう



おはなし黙想 2

